

平成29年度も早いもので2ヶ月が過ぎようとしています。新人さん達は環境や業務にだいぶ慣れてきた頃でしょうか。看護キャリア支援センターも新しい職員を迎え、これから新たな一面をどんどんお見せできるのではないかと考えています。それでは、フレンズ通信10号のはじまりです！

フレンズ通信

friends news

札幌医科大学附属病院
看護キャリア支援センター
No.10
2017.5.31発行



新人看護職員研修の様子



今年度は35名の新規採用看護職員を迎えました。新人看護職員研修のOff-JTでは、新人看護職員の皆さんが生涯学習を積み重ねていく看護職として自己決定的に学習でき、またOJTとOff-JTが連動した新人看護職員研修となるよう考えて、企画・運営に取り組んでいます。



看護技術のイメージ化を図るために映像を用いた学習も行なっています。映像は当センターHP院内専用ページに随時アップしています。どなたでも閲覧できますので、指導者さんは新人さんがOff-JTで学習した内容の把握に、新人さんは看護技術の復習などに、ぜひ活用してください。

フレンジンタビュー This Lucky lilac is ...

今回は、臨床看護教育者育成研修受講者 第一外科看護室 館山卓也さんのインタビューです！



研修プログラムの一環で、指導者として看護学科4年次学生の看護技術総合演習に参画しています

★ 臨床看護教育者育成研修を受講した動機は？
元々教育に興味がありました。平成27年度の実習指導者講習会を受講して看護教育について学び、指導者としての知識や技術は得たのですが、実践につなげることができていない部分があったのと、今後後輩の指導者たちへ伝えていくためにもさらに学びを深めたいと思い、受講を決めました。

★ 開講して半年、現在は教授-学習過程の学習中ですが、印象的だった学びは？

看護学科の講義や演習に参加する中で、教員がどのように授業展開しているかに注目していました。学生がどこまで理解していて何を教える必要があるのか、学生の考えを引き出す技術や授業構成等を見て、「教える」にも色々な方法があると学びました。現在学習しているシミュレーション教育は、急変時対応の学習会等で実践していた教育方法でしたが、基本から学ぶと、できていた部分もブラッシュアップが必要な部分も見えました。

★ 今年度は教育担当者も担う館山さん。新人さんや部署の方々とも関わる上で大切にしていることは？

新人だけではなく指導者にとっても、自分が「いつでも相談できる相手」であることです。今は話しかけない方が良いだろうか、など気を遣わせてしまうことのないよう、むしろ困っていることはない？と自分から関わるようにしています。



館山さんの温かい教育観を知ることができました！新人さん&2年目ナースとパチリ☆

